

工作機械と文房具の産業技術史

廣田 義人 (ひろた よしと)
知的財産学部 知的財産学科 教授



用途・応用分野：工作機械、文房具、歴史、特許

■ 研究概要

・工作機械工業の発展に関する国際比較研究

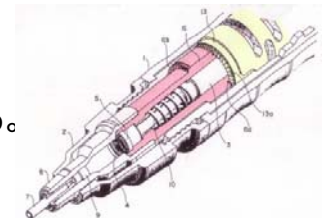
後発工業国が資本財産業である工作機械工業をいかにして発展させることができるのかを東アジア主要国を取り上げて明らかにした。



主著『東アジア工作機械工業の技術形成』(日本経済評論社、2011年)

・日本の文房具の生産と特許

修正テープ転写具、シャープペンシル、ステープラの開発と技術進歩を特許・実用新案公報、文献資料、製品から解明している。



■ 研究の特徴

工作機械

- ①日本、台湾、韓国、シンガポール、中国、インドネシアの比較研究
- ②現地語文献資料調査、現地聞き取り調査

文房具

- ①明治時代からの特許・実用新案公報を用いた研究
- ②メーカーおよび収集家からの情報収集

